

辺野古土砂北九州

発行…2020年8月・No.9 ≪第6回定期総会議案掲載≫



久志村(現・沖縄県名護市)の汀間川で、約70年前の1950年代初頭に撮影された「山原船」。詳細は浦島さんの連続エッセイ(5ページ)をお読みください。

≪目次≫

【日本の基地】米軍艦船に海自常駐の密接な関係(石澤偉男)……………	2 ページ
【エッセイ】大浦湾に山原船をもう一度(浦島悦子)……………	5 ページ
【天久学習会】地位協定・合同委員会・安保を学ぶ(第1章まとめ)……………	6 ページ
【辺野古新基地】設計概要変更申請≪意見書を出そう≫……………	8 ページ
【辺野古土砂北九州・第6回総会】議案……………	9 ページ
今後の予定……………	20 ページ

写真提供…石澤偉男・八記久美子・他(敬称略)

発行 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会



【シリーズ】日本の基地…第9回・横須賀基地(神奈川県)

米軍艦船に海自常駐の密接な関係

横須賀平和委員会事務局長 石澤偉男

■横須賀基地…米艦船が13隻も

横須賀基地は、在日米海軍司令部と米第7艦隊司令部とその主力艦船13隻の母港にされています。

中心は世界で唯一つの海外を母港にしている原子力航空母艦ロナルド・レーガンであり、それと一体とする打撃群を構成し、そのすべてが攻撃力の強いイージス艦が占めている米海軍基地です。

この第7艦隊の行動範囲は、太平洋のハワイ沖からインド洋までとなっていますが、戦後のアメリカが行ってきた朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、イラク戦争などの主力として参戦しています。まさに横須賀基地は、アメリカ海軍の出撃地の役割を持ち、当初の母港艦船11隻であった艦船が13隻に増強されています。

■隣の長浦湾に海自の拠点づくり

そして横須賀には、戦後しばらくして、米海軍を護衛する海上自衛隊が造られ、その司令部が、米海軍基地のある横須賀湾の隣の長浦湾に設置され、発足依頼米軍との

共同訓練を繰り返し、「戦争法」の成立以来、米軍艦船に海上自衛隊員が常駐するところまで、密接な体制が作られています。

さらに安倍政権のもとで、海上自衛隊横須賀基地は、市内に散在していた様々な基地機能を、海上自衛隊基地司令部がおかれている長浦湾内付近に集め、「海洋作戦センター」の名称まで付けた拠点づくりを進め、ヘリコプター空母を攻撃型戦闘機の空母に改造しようとしています。

■訓練もまともに受けていない兵隊が

こうした世界の国連憲章に沿った軍縮の流れに逆行する、米軍基地と海上自衛隊基地の動きの中で、大きな矛盾が表れています。

アメリカ軍は、ベトナム戦争以後、兵隊は徴兵制ではなく、任意の志願による兵隊に変わっていますが、その後イラク戦争に参加し退役した兵士の中で、PTSD(心的外傷後ストレス障害)で社会生活に復帰できず、毎日20人が自殺していると言われ(イラク帰還兵の証言)、アメリカ国民の、軍隊



原子力空母ロナルド・レーガンが一時寄港した時の写真。積載している艦載機が見えます。

に対する考えの変化があります。退役する軍人が増える一方、入隊するのは若い青年が中心になっています。横須賀基地内の兵隊は約一万人ですが、その平均年齢が21才だと言われ、若い兵隊がほとんどです。

こうした中で、2017年の一年間で、横須賀母港艦船4隻が次々に事故を起こします。3隻が他の船と衝突し、1隻が浅瀬で座礁をすと言う事故です。

この事故で、1隻は横須賀基地では修理できないほどの大きな損傷でアメリカ本国へ返され、17人も兵隊が死亡しています。

公表された米海軍のこの事故に対する報告書では、共通する問題として「安全な航海法を取れない航海者としての技術の欠如」があげられています。そこには訓練もまともに受けていない兵隊が、複雑・高度な艦船を動かしているということの欠陥が表れているのです。

自衛隊も、「戦争法」成立以来隊員不足が著しく、現在の充足率は全体の90%ほど。事務職員を除くいわゆる直接戦闘に関わる隊員の充足率は80%ほどだと言われています。当然海上自衛隊も隊員不足で、艦船の運用に支障をきたし始めていると言われています。

■米軍は日本を守るか？

日本政府は、「アメリカに守ってもらっている」と言っていますが、その根拠である日米安保条約では「即座に守る」とは言っていない。

5条に日本有事の際の規定がされていますが、アメリカ議会の承認を得て動くことになっています。議会が承認しなければだめなのです。アメリカ議会では再三にわたってこの問題の論議がされていますが、政府側の答弁は一貫して、「日本を守るのは日本自身であり、必要があれば自衛隊を米軍が支援をする」という立場です。

これはベトナム戦争への参戦と同じで、南ベトナム軍が闘う機能を失うと同時に、米軍は撤退をしました。アメリカは、アメリカ本国から遠く離れた日本を足場に戦争をすることが目的なのです。またアメリカは、キューバ危機以来一貫していますが、「アメリカ本国を攻撃できる能力を持つ国とは戦争はしない」との立場です。

■国連憲章の立場に立たない常任理事国

よく抑止力という言葉聞きます。相手が新たな武器を持ったからこちらもという立場ですが、これは際限のない軍拡競争で留まることは無くいつまでも続き、喜ぶのは軍事産業なのです。

こうした軍拡競争や軍事同盟は戦争の火種になるので止めようというのが、国連憲章です。その精神で行動している国々が世界で数の上では多数ですが、残念ながら常任理事国の国々はその立場に立っていませんので、国連憲章の精神が発揮されていません。しかし少しずつですが変化はきています。



思いやり予算で作られている、米軍住宅群と海上自衛隊司令部の写真。

■沖縄とは逆…それでも広がる市民運動

沖縄では「軍隊は国民を守らない」と県民の中で言い伝えられてきたと言われますが、横須賀では、横須賀の成り立ちが、軍隊関係で働くために横須賀に集まってきた人々で構成されていますから、沖縄の人々とは逆の立場です。

しかし戦後75年も経過していますから、市民の軍事基地に対する思いは変わって

きていますし、新しく市外から移り住んでいる市民も増えていますので、雰囲気も変わり様々な形での反対運動が行われています。大きく変わったのは、15年前の原子力空母が横須賀に配備されるということがきっかけで、基地問題に無関心だった市民の中で大きな運動が始まり、現在も粘り強い運動が繰り広げられています。

(いしざわひでお)



横須賀市の米海軍横須賀基地への原子力艦船入港が1000回となったことで、昨年11月、県内の8団体が同基地に抗議文を提出。市への申し入れと宣伝活動も行いました。写真は、米海軍横須賀基地前で抗議する、住民のみなさん。



完成間際の「海洋作戦センター」



世界で唯一つ、海外を母港にしている原子力航空母艦ドナルド・レーガン

- 母港…横須賀海軍施設
- 全長…333m
- 最大幅…76.8m
- 乗員…士官・兵員 3200名 航空要員 2480名
- 搭載機…90機前後(平時は66機前後)

※写真とデータ…ウィキペディアより

大浦湾に山原船をもう一度

ヘリ基地いらぬ二見以北十区の会共同代表／フリーライター



去る6月22日付『琉球新報』に「山原船カラー写真発見」の見出しと、その写真を目にして「おー！」と思わず声を挙げた。

山原船(やんばるせん)は、かつて戦前から戦後しばらくまで、やんばる(沖縄島北部)から薪や炭、木材などの林産物を運び出し、中南部から生活物資を運んできた木造の輸送船で、大浦湾はその一大拠点だった。大浦湾にそそぐ二つの川＝大浦川と汀間川(わが三原の山々を源流とし、三原と汀間の集落を流域に持つ)の河口は山原船の港としてにぎわい、当時はお店などもたくさんあったという。

*

記事によると、撮影したのは1950年代前半に米軍基地内の学校で教師をしていたメリウェザー・ディキンソンさんと、元在沖米空軍兵のドン・キューソンさん(アリゾナ州)が写真を所蔵していたという。地域の戦後生まれの人たちも山原船のことはかすかに覚えていて、話はいろいろ聞いたし、他の場所でのモノクロ写真をいくつか見たことはあるが、カラー写真は初めて。しかも「撮影場所は汀間と三原の境界付近」とあるので、いささか興奮した。

写真をよく見ると、確かに見慣れた山の形だ。撮影以来70年近く経ち、その間に河川や道路の改修が行われて地形は変わったが、山の形は変わっていない。岸边には木材が積まれているのが見て取れる。これは「タムンジャー(タムン＝薪、ジャー＝座)」と呼ばれていた薪の集積場だろう。燃料が薪から化石燃料に代わる以前、平地の少ないこの地域の人々にとって「山稼ぎ」は暮らしを支える最大の産業、唯一の現金収入源でもあり、男も女も、子どもた

ちまで、こぞって山に入った。

ある人は子どもの頃、薪を1束持って行くと、山原船が運んでくる「回転焼き」と交換してもらえるのが楽しみだったという。甘いお菓子などない時代、たまの胸躍る贅沢だったのだろう。当時はまだ物々交換も多く、「薪1束でソーメン何束と言って交換した」。

20年ほど前にお話を聞いた大浦のあるおばあは「戦前、娘たち同士で連れだって山に入り、薪を担いでの帰り道、山の上から大浦湾に山原船が入ってくるのが見えると、担いでいた薪を降ろして、皆で喜びの歌を唄い、踊った」と話してくれた。「山原船がいつちよんどー、灯しぬたむのーこーみそーり(山原船が入ってくるよ、灯りや燃料になる薪を買って下さい)」と実際に唄いながら手踊りしてみせる彼女を見て、陸路が発達していなかった時代、この地の人々がいかに山原船の訪れを待ち望んでいたか、山原船が運んでくる物資や外からの情報が人々の心身を支えていたのかを思い、胸が熱くなった。

*

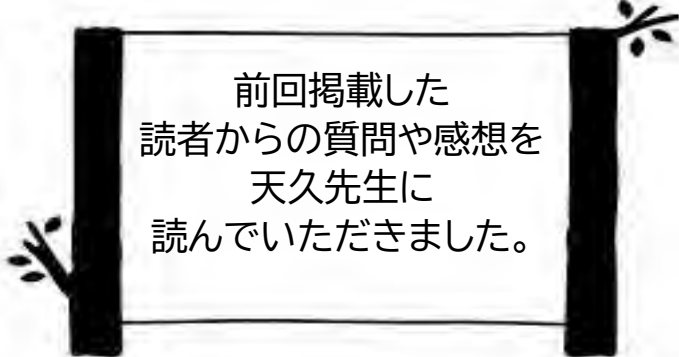
いま、大浦湾に山原船の姿はなく、代わりに、新基地建設のための埋め立て用土砂運搬船や巨大な作業台船がひしめいている。これらを一日も早く一掃し、大浦湾に軍艦でなく山原船をもう一度浮かべてみたい。——それが私の密かな、しかし熱い夢だ。(うらしまえつこ)



天久先生の紙面学習会

日米地位協定・日米合同委員会・日米安保条約 《連続学習会》No.3

テキスト…日米地位協定－在日米軍と「同盟」の70年(山本章子著・中公新書)



前回掲載した
読者からの質問や感想を
天久先生に
読んでいただきました。

「第1章 占領から日米安保体制へ―駐軍協定」に寄せられた 質問・感想に対する天久先生のコメント

■宗吉信さんのご感想について

なぜ、日本は NATO 並みの内容で締結に至ったのか、ドイツ、イタリア並みの権利を勝ち取れていないのかというご疑問です。私もまったく同感です。ドイツ、イタリアは NATO 軍地位協定の「好意的配慮」条項により、事実上裁判権を取りあげられていました(16p～)。ところがドイツでは、90年の東西統一後、大きな基地被害があったことなどが背景となり地位協定の改定が大きく前進し、ここで日本との差が大きく開いたようです。この点はテキストの第6章で触れられます。日本では57年

1月に起きた米兵による最初の凶悪事件である「ジラード事件」により国内世論が沸騰しましたが、当時の岸信介外相(後に首相)が地位協定改定に向けてどのように動いたのかは次の第2章に詳しく書かれています(早く読み進めたくになりますね)。

また、八記さんのご紹介にもありますが、米国には太平洋地域を支配する野望がありました。ソ連や中国ににらみを効かせるための手段として日本をいわゆる「不沈空母化」すること、それには日本を強く従属的な地位に置く地位協定が不可欠だったのではないかと考えます。

■大野保徳さんのご感想について

大野さんご指摘の「知らしむべからず」は、論語の「由(よ)らしむべし知らしむべからず」のことですね。論語を読んだことのない私でもこの言葉だけはかろうじて知っていました。

その意味は、人民を為政者の施政に従わせることはできるが、その道理を理解させることはむずかしい。転じて、為政者は人民を施政に従わせればよいのであり、その道理を人民にわからせる必要はないという示唆です。

絶対王政の時代であればともかく、民主主義の時代にはふさわしくありません。旧憲法においては天皇の行政大権の下、国民にとって政治は与えられるものであり、まさに「知らしむべからず」が妥当する時代でしたが、その時代が尾を引くかのような安保条約と地位協定の扱いです。「知らしむべからず」は、その後潰えたのでしょうか…。あ、2013年成立の特定秘密保護法が…。

■藤堂均さんのご感想について

日本人は同調意識が強く、自然と醸成される「雰囲気」に弱いということは現代でもよく言われることですが、それは戦中、そして戦後も同じではなかったのかと思います。

他方で、戦時中の日本軍と米軍の戦力差は、火力よりも米軍の徹底した調査力にあったとも言われています。米軍は、沖縄上陸を含めた上陸作戦の前に現地の民族性、文化、風土、コミュニティにおけるキーパーソンまでもを徹底的に調査し、上陸後の占領政策を綿密に立案したと言います。

日本人についても、米国がその気質を熟知した上で利用し、占領政策を円滑に進めていたのではないのでしょうか。藤堂さんご指摘のとおりであると思います。

■八記久美子さんのご感想について

ご指摘のとおり、在日米軍駐留の目的は太平洋地域における米国の支配的な軍事的地位を維持することにあつたと思います。米国の対東アジア政策や覇権主義に関しての記述はテキストには見当たりませんでした(あればごめんなさい。)。その部分に特化した勉強会もいずれ持ちたいですね。

日本を非武装化する憲法9条がある、しかし日本に軍隊を駐留させたいという二律背反する要請、すなわちジレンマを解消したのが砂川事件最高裁判決だったのでしょか。同判決については次回第2章で採りあげたいと思います(50p～)。

第2章は《公開学習会》です

・日時…8月29日(土)10時～12時

・場所…生涯学習総合センター 21会議室 ・講師…天久泰弁護士

・内容…テキスト《日米地位協定－在日米軍と「同盟」の70年(山本章子著・中公新書)》から第2章「60年安保改定と日米地位協定締結-非公開の合意記事録」
※すみませんが、テキストはご自分でお買い求めください。

※参加申し込み・お問い合わせは…藤堂均 090-6299-2608 まで。コロナ禍で、中止になる可能性もあります。その場合、申し込みをいただいた方には、連絡をいたします。

沖縄防衛局の変更申請に意見書を出そう デニー知事を支え、工事のストップを

●防衛省沖縄防衛局は、今年4月21日、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設で、埋め立て予定地に広がる軟弱地盤改良のための設計変更を沖縄県に申請しました。

計画を変える時には、変更手続きをして、沖縄県知事の許可をもらわないと、沖縄防衛局は工事を進めることができないのです。

●4月に提出された変更申請に対し、沖縄県は5月25日防衛局に補正指示を出し、7月1日には再度の補正指示を行いました。

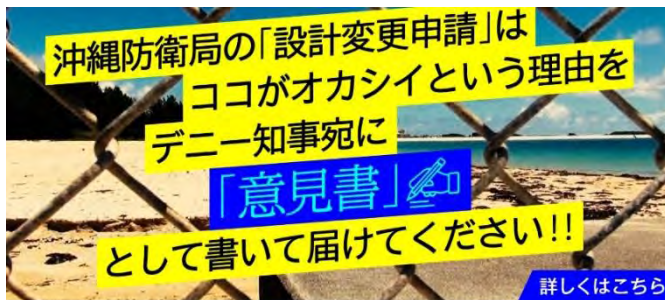
これにより、7月中旬と言われていた「設計概要変更申請書」の告示・縦覧が、7月下旬、さらには8月へとずれ込んでいます。

※設計変更により直接影響する軟弱地盤についての、詳細な調査や検討も行われないままの、超軟弱地盤の改良工事の実現性や設計変更の前提とされる調査結果には、専門家から不十分さやデータ改ざんなどの指摘が相次いでいます。

告示・縦覧が始まったら

意見書を出すことが出来ます

2020年7月24日現在、「告示・縦覧」の日は未定です



●みんな利害関係人だ

意見書が出せるのは、この工事の「利害関係人」です。沖縄県の試算で2兆5,500億円以上の莫大な予算がかかるこの工事、それは全て私たちの税金です。だから国民は誰でも「利害関係人」として、意見書が提出できます。

意見書作成の手引き

意見書作成の手引きの内容

1. 変更承認申請の今後の手続きについて

2. 変更承認申請の概要（地盤改良工事、護岸工・埋立法変更）

3. 変更承認申請の問題点

- (1) 総工事・工期の問題— 本体工事は「15年」、工事費の2割が民間整備費
- (2) このままでは護岸が崩壊する！— 大浦湾の軟弱地盤は地盤改良不可能
- (3) 供用開始後も地盤沈下が続く— 前代未聞の滑走路のジャッキアップ
- (4) 耐震設計の問題— 活断層もある中で、「レベル1」では不十分
- (5) 環境への影響は深刻— 環境影響評価のやり直しを！
- (6) 埋立土砂・魚砂の調達問題— 沖縄全域からの土砂採取。県外各地からも<補足>戻ってきたジュゴンとサゴウの特別採捕許可問題

ここをクリックすると、北上田さんの資料を見ることができます



資料ダウンロード

●詳細は、オール沖縄会議のホームページでご確認ください。意見書の出し方、北上田毅さんの学会の資料など、色々見ることが出来ます。意見書の白紙の用紙は会報に同封しています。

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

第6回定期総会議案

2020年8月23日(土)14時~16時30分

パークサイドヴィレッジ地域交流センター(小倉北区大手町14番)会議室①~③



総会にはこの議案書をご持参下さい

《総会プログラム》

【1部】DVD上映会…「劇映画・沖縄」の第一部「一坪たりともわたすまい」75分

初公開から50年たった今年、DVDで復活したこの映画の1部を上映します。暴力ではなく、沖縄伝統の文化で米軍に挑むそのたたかいが胸を打ちます。コロナ禍の中での75分は、「ちょっと長いかな」とも思いましたが、「風通しのいい部屋で、黙って見るだけなので上映しよう」という事になりました。

(トイレ休憩)

【2部】総会…1時間の予定です

(進行・宗吉信)

- ・辺野古新基地をめぐるこの一年の情勢(藤堂均)7分
- ・今年度の活動報告(八記久美子)7分
- ・財政報告(大野保徳)4分
- ・会計監査報告(後藤尚子)1分
- ・新しい一年に向けて(南川健一)5分
- ・みんなで話そう 20分
- ・新しい役員の提案と紹介(八記久美子)4分
- ・拍手で承認 1分
- ・新役員挨拶&閉会挨拶 2分



申し込みが必要です

総会はコロナの関係で、参加者の定員を30名としました。

お手数ですが、総会参加希望の方は、下記まで申し込みをお願いします。

定員になり次第、締め切らせていただきます。申し訳ありません。

●藤堂均

090-6299-2608

<hts@mtc.biglobe.ne.jp>

辺野古新基地をめぐるこの1年間の情勢 (2020年7月24日現在)

《1》自然保護について

1. ホープスポット…昨年10月、世界で最も重要な海域に“保護の網”をかけることを目的とする「ホープスポット(希望の海)」に、辺野古・大浦湾一帯が日本で初めて認定されました。これは生物の多様性豊かな辺野古・大浦湾の自然保護の必要性が、さらに強く日本中・世界中から認識される機会となりました。
2. ジュゴン…4月10日に行われた、沖縄防衛局が設置する「環境監視等委員会」で、2月と3月にジュゴンと思われる鳴き声が検出されたことが、報告されました。鳴き声は合計42回が記録され、そのうち工事が無い日や時間での記録は31回、全体の73%でした。ジュゴンが餌を求めて大浦湾の藻場に近づく事を、工事が阻んでいることが分かります。
3. サンゴ…沖縄防衛局から昨年4月と7月に提出された「サンゴ類の特別採捕許可申請書」に対する沖縄県の判断が遅れているということで、農林水産大臣から「許可せよ」という指示が出されました。自治体がする判断について国が口を挟み、しかも遅れているから早くせよというのではなく、「許可せよ」という的外れな指示です。沖縄県が国地方係争処理委員会に審査申し立てをしたところ、委員会は知事の裁量権を否定するかのような理由を付けて農水相の指示は違法では無いと判断しました。これについて7月22日、沖縄県は、知事の権限行使の前に国が許可を命じたもので、知事の判断権限を奪う違法なものであるとして、福岡高裁那覇支部に提訴しました。

なお、「サンゴ類の特別採捕許可申請書」は、「造礁サンゴ類の移植技術に関する試験研究」を目的としています。採捕するサンゴ類の数は2件合わせて39,590群体です。移植対象のサンゴ類は78,460群体あり、その半分以上を移植することが“試験研究”というのですから、奇妙な申請です。



《2》工事関係について

1. 埋め立て土砂…埋め立て用土砂については、その最大70%を門司を中心とした県外から調達することとし、近年は採取対象地を拡大していましたが、昨年末沖縄防衛局は

「埋め立て土砂の必要量は県内調達が可能」と発表しました。これは沖縄県土砂条例により外来特定生物対策が必要なため膨大な手間と費用が掛かることと、沖縄県内の岩ズリの価格が高騰したことに味をしめた地場企業の利権が絡んでいるものと思われます。実際には、県内だけで調達できるかどうかはわかりませんが、工事を早く進めようとして県外から移入することも考えられます。いずれにしても、県内調達量が大幅に増えるものと思われ、沖縄の山を壊した土で沖縄の海を壊すという二重の環境破壊が一層ひどいものになるということです。

2. 設計概要変更申請…沖縄県庁が新型コロナウイルス対策に迫られ、その上感染予防のため、やむを得ず職員の出勤を半分に抑えた直後に、沖縄防衛局は「設計概要変更申請」を沖縄県に提出しました。これは大浦湾の、マヨネーズ並といわれる軟弱地盤に対する、地盤改良工事が必要となったために出されたものです。2016年にはすでにボーリング調査で、軟弱地盤のことは判っていたにもかかわらず隠し続け、県庁が大変な時に、申請書を提出したというわけです。しかも、2度も沖縄県から補正指示が出されるというお粗末さです。
3. 地盤改良工事…設計変更後行おうとしている工事は、水面下90mまでである軟弱地盤を、工事能力限界の70mまでしか地盤改良はしないというものです。しかし、5月12日、河野防衛相は参院外交防衛委員会で、埋め立て予定海域の「B27」地点の軟弱地盤が、従来の説明より7m深い77mまで存在することを認めました。日本にも世界にもこの深さに対応できる工事船はありません。
4. 震度1で崩壊…地質学の専門家である立石雅昭新潟大学名誉教授らが、防衛省が公表しているデータを基に解析したところ、地盤の改良工事しても、震度1の地震で護岸の一部が崩壊し、震度2では護岸の大半が崩落する危険性があるとの結果がでました。



《3》政治状況について

1. 見直しの意見…政府は秋田、山口両県への地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」配備計画を断念しました。これを受けて石破・中谷両元防衛相はじめ与党内からも辺野古新基地建設見直しの意見が出始めています。
2. 小委員会で…6月下旬、米連邦議会下院軍事委員会の即応力小委員会が2021年度国防権限法案を可決しました。この中では辺野古新基地予定地である大浦湾の地震の可能性や地盤の不安定性が指摘されており、地盤の強さを示す「N値」の検証結果や海洋哺乳類・サンゴなどへの影響などを含む報告書を提出するよう、国防長官に指示する内容が盛り込まれていましたが、残念ながら軍事委員会の段階で、これらの記述は削除されてしまいました。小委員会段階とはいえ、辺野古新基地建設の問題点を米議会が認識したことは沖縄県から米議会に働きかけた成果といえます。
3. 沖縄県議選…2020年7月5日投開票で行われた沖縄県議選。デニー与党は、改選前の26から1議席減らし25議席。野党・中立は改選前の20から3議席伸ばし23議

席となりました。過半数はとったものの、玉城知事は「私たちが予想していたよりも非常に厳しい結果だ」と感想をのべました。

《4》まとめ

1. いつ終わるかわからない…軟弱地盤の改良工事に伴う設計変更により工期が大幅に延びました。防衛省の希望的観測では工期9年3ヶ月となっていますが、これにサンゴ類の移植期間を足さねばなりません。玉城知事が、サンゴ類の移植の許可や設計変更の許可を出すはずもなく、法廷での争いとなるでしょう。その期間も足さねばなりません。この法廷での争いに仮に国・防衛省側が”順調”に勝ったとしても、12年以上は掛かります。その間、普天間基地の危険性が増すことはあっても、改善されることはありません。
2. いくらかかるかわからない…総工事費は当初の2.7倍の9,300億円(沖縄県の試算では2兆5,500億円)に膨らんでいます。しかも、その2割は警備費です。2014年に防衛局が発注した辺野古関連工事で1,870円/m³であった岩ズリの単価が、3年後の2017年には5,370円/m³と3倍になりました。これから先どれだけ総工事費が膨らむかわかりません。
3. 命を救え…辺野古埋め立て工事の進捗状況は今年5月末時点で、事業全体の約2.8%程度と推定(沖縄県議会2020年7月3日答弁から)されます。一日でも早く工事を差し止めさせることができれば、それだけ貴重な大浦湾・辺野古の生き物たちの命が救えます。



【チョイさんの沖縄日記から転載】 沖縄ドローンプロジェクトから、辺野古の外周護岸で進んでいる嵩上げ工事のドローン写真(7月3日撮影)が送られてきた。工事用ゲートからは連日、多くのコンクリートミキサー車が入っているが、ポンプを使ってL型擁壁の底板部分のコンクリート打設が急ピッチで続いている。1カ所の施工単位は10m。K1~K4護岸は総延長1,674mあるから、このようなブロックが168カ所ほど造成されることとなる。現時点でまだ7カ所ほど造成されているにすぎない。この嵩上げ工事だけでもかなりの期間がかかる。

この1年を振り返って

■活動日誌

- 08月24日(日)…第5回定期総会 20名参加
09月04日(水)…健和会大手町病院「職員研修」講師派遣
09月06日(金)…第1回世話人会
09月09日(月)…発送作業・ニュース 5名
09月11日(水)…第8回地域ビラ配布・馬寄(まいそう)地域・7名・850枚
09月24日(火)…新婦人南コスモス班「辺野古学習会」講師派遣
09月28日(土)…第30回小倉駅街頭宣伝・6名
チラシ配布150枚・署名2筆・カンパ5311円
09月29日(日)…学習会「自衛隊と米軍基地」参加者37名、講師・長能正義氏
10月02日(水)…各団体チラシ届け「ドローンの眼」・2名
10月04日(金)…川上誠一議員から「海砂問題」レクチャー・5名
10月06日(日)…福岡県母親大会運動交流で訴え・4名
10月09日(水)…第9回地域ビラ配布・白野江、黒川、清滝地域・5名・700枚
10月10日(木)…第2回世話人会
10月14日(月)…発送作業・ニュース・4名
10月26日(土)…第31回小倉駅街頭宣伝・6名
チラシ配布100枚・署名4筆・カンパ1100円
11月01日(金)…「福岡・山口土砂会議」議員5名+市民9名・海砂と新しい採石場
11月02日(土)…DVD上映会「ドローンの眼」参加者36名・入会4名
11月03日(日)…「改憲反対11.3北九州集会」で報告と首里城カンパ訴え(46,776円)
11月07日(木)～09日(土)…日本平和大会 in 沖縄 参加者4名
11月13日(水)…第10回地域ビラ配布・大里地域・5名・750枚
11月14日(木)…第3回世話人会
11月22日(土)…第32回小倉駅街頭宣伝・7名・チラシ配布150枚
署名2筆・首里城カンパ2600円
11月25日(月)…発送作業・ニュース・5名
12月02日(月)～04日(水)…土砂全協 in 沖縄・連続学習会&役員会議
12月12日(木)…第4回世話人会
12月13日(金)…世話人対象「外来生物対策条例」学習会・末田一秀さん講師・6名
12月16日(月)…各団体チラシ届け「ドローンの眼・浦島悦子さんと語る朝」・2名
12月20日(金)…発送作業・会報No.1・4名
12月21日(土)…第33回駅前街頭宣伝(門司)・5名・チラシ配布80枚・署名2筆
01月05日(日)…DVDロングラン上映会・参加者37名・朝日新聞にニュース掲載
01月06日(月)…発送作業・土砂全協「つながる力」・1250部・6名
01月08日(水)…第11回地域ビラ配布・藤松地域・7名・700枚
01月09日(木)…第5回世話人会
01月19日(日)…「浦島悦子さんと語る朝」参加者21名・入会2名
01月25日(土)…第34回小倉駅前街頭宣伝・参加者7名・チラシ220枚・署名6筆
カンパ1669円

- 01月27日(月)…会報発送作業・会報No.2・6名
 02月06日(木)…第6回世話人会
 02月09日(日)…自治労連九州ブロック女性部学習交流会・講師派遣
 02月17日(月)…「外来生物対策条例の制定を求める請願提出」で、福岡県議会各会派を
 紹介議員依頼で訪問・2名
 02月22日(土)…第35回小倉駅街頭宣伝 参加者6名・署名1筆・カンパ500円
 02月24日(月)…発送作業・会報No.3・5名
 02月26日(水)…紹介議員依頼会派に挨拶まわり・2名
 03月05日(木)…第7回世話人会…コロナ感染症のため延期
 03月09日(月)…県議会一般質問傍聴・3名
 ※民主県政県議団の渡辺美穂県議が当会の請願内容を質問
 03月23日(月)…発送作業・会報No.4・5名
 04月13日(月)…発送作業・「土砂全協・つながる力」・1250部・7名
 04月16日(木)…第7回世話人会
 04月20日(月)…発送作業・会報No.5・6名
 05月13日(木)…第8回世話人会
 05月22日(金)…第36回小倉駅前宣伝・8名
 05月25日(月)…発送作業・会報No.6・6名
 06月10日(水)…第9回世話人会
 06月26日(金)…小倉駅街頭宣伝・6名・カンパ360円
 06月29日(月)…発送作業・会報No.7・6名
 07月08日(水)…第10回世話人会
 07月25日(土)…小倉駅街頭宣伝・8名
 07月27日(月)…発送作業・会報No.8

■はじめに…年度前半は、活動方針に沿った行動を展開できましたが、新型コロナウイルス感染症により、講演会など、活動の多くがストップしてしまいました。以下、この1年の活動を具体的に振り返ります。 ※太字は今年度の目標

《1》いっそうの市民・県民世論を広げましょう

- 1.小倉駅前街頭宣伝…参加者は7名前後と増えませんでした。カンパの箱を置いたり、情勢に合わせたポスターを作製したり、マイクを持つ人を増やしたりの努力を行いました。また、街頭宣伝でのカンパのおかげで、荷物を運ぶ車の駐車場代や配布チラシの印刷代など、街頭宣伝にかかる経費を、カンパで賄えるようになったのは、うれしいことでした。小倉駅前宣伝は、今年の3月・4月は中止しましたが、5月から再開しました。
- 2.学習会、講演会など、知識・認識・世論を広げる活動…辺野古新基地建設と南西諸島で進む自衛隊のミサイル発射基地の工事が進む様を描いた「ドローンの目」を4回上映しました。また、「九州全体の軍事要塞化」「外来生物イロハ教室」「紅茶を飲みながら浦島悦子さんと語る朝」「福岡・山口土砂会議」「首里城火災支援募金」「沖縄意見広告」等を取り組みました。5月開催予定だった「安保・地位協定・日米合同委員会」の連続学習会は、コロナの関係で開催できず、会報を使つての紙面学習会となりましたが、これは会報を発行しているからこそできた対応でした。
- 3.門司区でのチラシ配布活動…毎月800枚前後のチラシ(新基地建設に関わる基本的

なことと、門司が、土砂搬出予定地であることを知らせるチラシ)配布を、門司の各地で行ってきましたが、コロナの関係で今年度は4回(延べ24人・3000枚)の取り組みに終わりました。

4.市内・県内の他団体と政府に「辺野古ストップ」を求める運動…共同の取り組みはできませんでした。

《2》国(防衛省・環境省)、自治体・議員への働きかけを強めましょう

- 1.「辺野古ストップ」署名活動…土砂全協の一員として、北九州でもこの署名を取り組みました。昨年6月には、全国から集まった61万筆を超える署名を、国に提出しました。署名の取り組みは19年末まででしたが、最終提出日は、コロナの関係で未定になっています。この他、地位協定未見直しの署名にも取り組みました。
- 2.外来生物対策条例の制定…福岡県や北九州市に、この条例制定を求める第一歩として、今年2月、世話人会を中心とした学習会を行いました。その後、「外来生物対策条例」の制定を求める請願書の紹介議員になっていただきたいと、県議会各会派を回りました。そのような中、「辺野古の関係だと、数の力で否決される」とのアドバイスもいただきました。そんな私たちに、民主県政県議団の渡辺美穂県議が応えてくれ、3月9日(月)の一般質問で「福岡県の希少種保護に関する条例の制定」を取り上げ、「希少種の生息に影響を及ぼす外来種の取り扱いも含めて答えよ」と県を迫及してくれました。現在その行方を見守っているところです。また、会報でも、沖縄や福岡県の希少種や外来生物に触れ、認識のすそ野を広げているところです。
- 3.福岡県・北九州市に対し「辺野古工事中止」の意見書採択…取り組めませんでした。
- 4.海砂・鉄鋼スラグ(海砂の代わりに使われる可能性がある)・オオキンケイギク(特定外来生物)に対する、学習と状況収集をすすめます。…海砂については、漁師でもある川上誠一芦屋町議からレクチャーを受けました。オオキンケイギクについても分布調査を行い、その状況を会報で紹介しました。

《3》運動の推進のために、組織と財政を強化しましょう

- 1.会員を増やします…今年度は団体会員2団体増。個人会員20名増でした。これまで、様々な取り組みの中で、2名、4名と入会者がありましたが、今年度後半は取り組みがないため、会員さんも大きくは増えていません。また、亡くなられる方や退会される方もあり、2020年7月25日現在の会員数は、団体会員31団体・個人会員292名です。
- 2.ニュースの定期発行…これまでのニュースを2019年12月から会報に変えました。会員・他団体・北九州市議全員・市政記者室等にお届けしており、配布数は470部です。6月から、メールアドレスのある方には、メール配信も行っています。学習会は頻繁に開くことができませんが、会報が「ミニ学習の場になるように」との思いで、発行を続けています。

《4》補足として…辺野古土砂北九州は、土砂全協の一員として、「環境省・防衛省交渉」「沖縄での連続学習会」「沖縄県議会への陳情」など、今年も全国の仲間と力を合わせて、様々な取り組みを行ってきました。また、土砂全協の事務局次長担当・会報「つながる力」の発送作業(約1300部)・全国の署名の集約など、世話人会全体で、土砂全協の活動の一端を担ってきました。

地元では、年度後半は、学習会や映画の上映会など開催できず、会員同士が集まる

機会がありませんでしたが、世話人会では、役割分担が進んだ1年でした。

《あんなこと・こんなこと》



発送作業の様子。今は窓を全開で行っています



土砂全協顧問の末田さんに来ていただき、世話人会を中心とした、外来生物対策条例の学習会も行いました。



恒例の小倉駅街頭宣伝は、コロナで2回お休みしました。



門司地域での毎月のピラ配りの後、みんなでお昼ごはん。



漁師でもある芦屋町議の川上さんをお尋ねして、海砂のお話を伺いました。



会報の連続エッセイでおなじみの、浦島悦子さんを囲んで。この時は「二見情話」の歌も、聞かせていただきました。



福岡県平和委員会の長能さんを講師に、九州での自衛隊と米軍基地の現状を学びました。

会計及び会計監査報告

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

第5期決算書 (2019年6月1日～2020年5月31日)

収入		支出	
費目	金額(円)	費目	金額
①団体会費	63,000	⑧活動支出費	301,652
②個人会費	266,000	⑨ニュース発行費	335,158
③カンパ	100,921	⑩会議費	1,120
④活動収入費	221,027	⑪事務費	19,652
⑤その他収入金	2	⑫総会費	26,497
⑥前年度繰越金	450,870	⑬その他支出金	0
合計	1,101,820	⑭次年度繰越金	417,741
		合計	1,101,820

①～④は増田勝也。⑦は増田が盛えたときの予備勝也としています。



2020年6月28日 以上の通り報告します。 財政担当 大野保徳

【会計監査報告】

領収書(控)・振替受払通知票・入金伝票(領収書添付)・出納帳・通帳・
会費納入一覧表を確認したところ、適切に処理されておりました。

2020年7月12日
会計監査 後藤尚子



新しい1年の活動方針

■はじめに…WHO は、「近い将来、かつての常態が戻ってくることはない」と、コロナとの長期戦の覚悟を世界に求めました。新年度は、コロナ禍でもできる活動や、新しい活動の在り方を模索しながら、土砂全協の方針に沿った活動や、北九州独自の活動を取り組んでいきたいと思えます。

《1》土砂全協の方針に基づいた活動を行います

私たちは、土砂全協(辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会)の一員として、土砂全協の方針を活動の中心に据え、全国の仲間と力をあわせて頑張ります。また、土砂全協の運動を支えるための活動(署名の集約・会報の発送作業等)を担う予定です。※毎年5月に開かれる土砂全協の総会が、今年は9月13日開催になりました。新年度の運動方針や任務分担は、そこで決まります。

《2》いっそうの市民・県民世論を広げましょう

- ①小倉駅前での街頭宣伝の参加者を増やすとともに、「目に訴える宣伝」などの工夫をおこないます。
- ②講演会・学習会・映画上映会などは、リモート(遠い・遠隔を意味する言葉)講演会・リモート学習会などを積極的に取り入れ、ネット環境のある方は自宅から参加、ネット環境のない方は、会場に集まる等で、三密にも赤字にもならない方法で取り組みます。

《3》国(防衛省・環境省)・自治体・議員への働きかけを強めます

- ①土砂全協の一員として、防衛省・環境省への交渉を行います。
- ②福岡県・北九州市に対し「辺野古新基地建設中止の意見書採択」を求めます。
- ③福岡県・北九州市に対し「日米地位協定の改定を求める意見書採択」を求めます。

《4》運動の推進のため、組織と財政を強化しましょう

- ①取り組みを通じて、団体・個人の会員を増やします
- ②「会報」を毎月発行し、情報提供の場・学習の場とします。

新役員の提案

- 共同代表…(年金者組合北九州市協議会) 担当者は確認中
法本健吾(全日本港湾労働組合関門支部 再任)
南川健一(門司区9条の会 再任)
三輪幸子(新日本婦人の会福岡県本部 再任) ※以上、あいうえお順
- 事務局長…八記久美子(個人会員 再任)
- 事務局次長…藤堂 均(個人会員 再任)
- 財政係…大野保徳(個人会員 再任)
- 世話人…宗吉信(個人会員 再任) 松本秀樹(個人会員 新任)
若干名増員予定

○顧問…天久泰(弁護士・個人会員 再任)

○会計監査…後藤尚子(個人会員 再任)

そのほか、発送のお手伝いをして下さる方が、数名おられます。いつもありがとうございます。

【今回役員を交代される皆さんです】

みなさんは会の結成当初から役員をされてきました。5年間本当にありがとうございました。

○共同代表…森下宏人さん ○世話人…野田恵美さん、大谷正穂さん

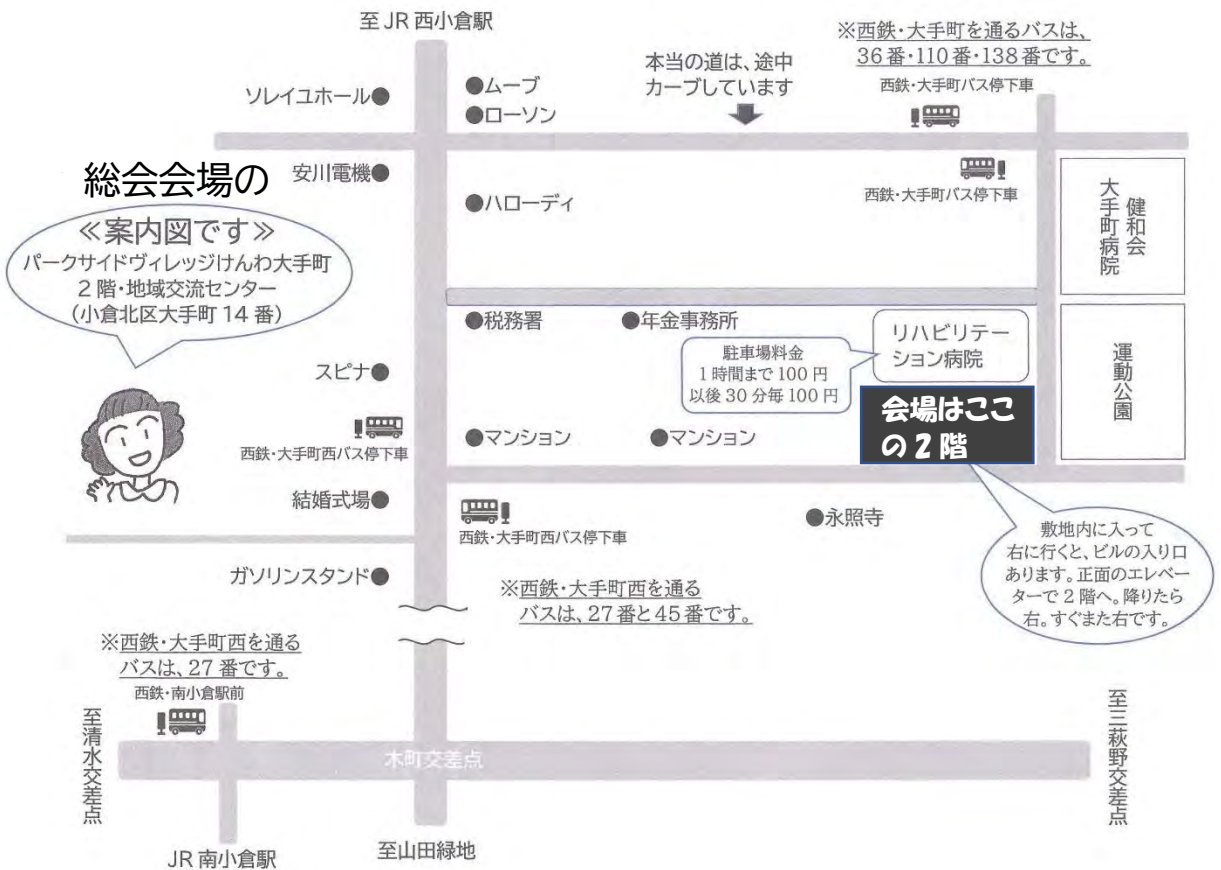
会則から抜粋【**辺野古土砂北九州の目的と事業**】

目的…辺野古新基地建設埋め立て土砂の、沖縄県内外からの採取・搬出に反対し、基地のない平和な沖縄・日本の実現と、互いの故郷の自然と文化を守ることを目的とする。

事業…(1)土砂搬出計画の中止を求める事業

(2)辺野古新基地建設の中止を求める事業

(3)加盟団体・個人の学習・交流・情報交換に関する事業



《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 8月05日(水)…《世話人会》北九州生涯学習総合センター(情報学習室)14時～
- 8月23日(日)…《辺野古土砂北九州第6回定期総会》
パークサイドヴィレッジ地域交流センター(1～3)14時～
- 8月29日(土)…《天久学習会》北九州生涯学習総合センター(21会議室)10時～
- 9月07日(月)…《会報発送作業》北九州生涯学習総合センター31会議室・10時～

「会費納入状況のお知らせ」を 同封しています



会員のみなさん…年会費納入やカンパ、いつもありがとうございます。今回は表記の「お知らせ」と「振込用紙」を同封しています。また、この件に関するご質問等がありましたら、財政担当・大野(090-4482-0043)までご連絡ください。よろしく申し上げます。

土砂全協の総会が 9月13日香川県高松市で開催されます 当会は、北九州からリモート(遠隔)参加します



コロナの関係があるので、今総会は、総会会場(高松市)と東京・沖縄・北九州などをネットですつないで開催します。興味のある方は、ご参加ください。

*

- 日時…9月13日(日)14時～17時
- 北九州会場…戸畑生涯学習センター(ウエルとばたの向かい側)
※会場の関係で、参加規模は10名としたいと思います。
申し込みは宗吉(090-8418-0472)まで。

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会
〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方
八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608
kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp